

さるびあ図書館の
「今後」を
みんなで
考えませんか。

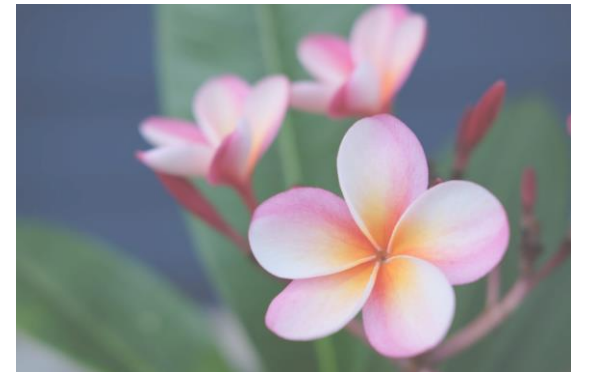
2024.3.15

町田市立図書館



本日の趣旨

- (1) 町田市の公共施設再編と図書館の取り組みについて知って頂く
- (2) さるびあ図書館の「今後」について、ご意見を頂く



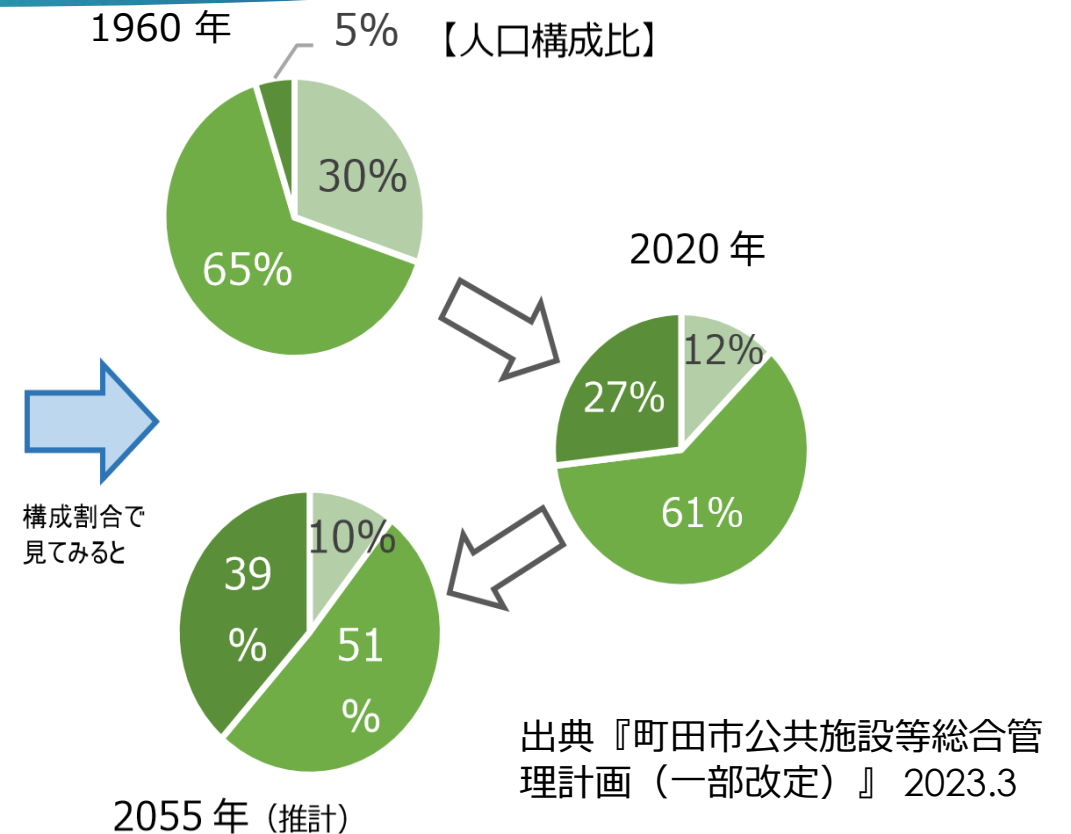
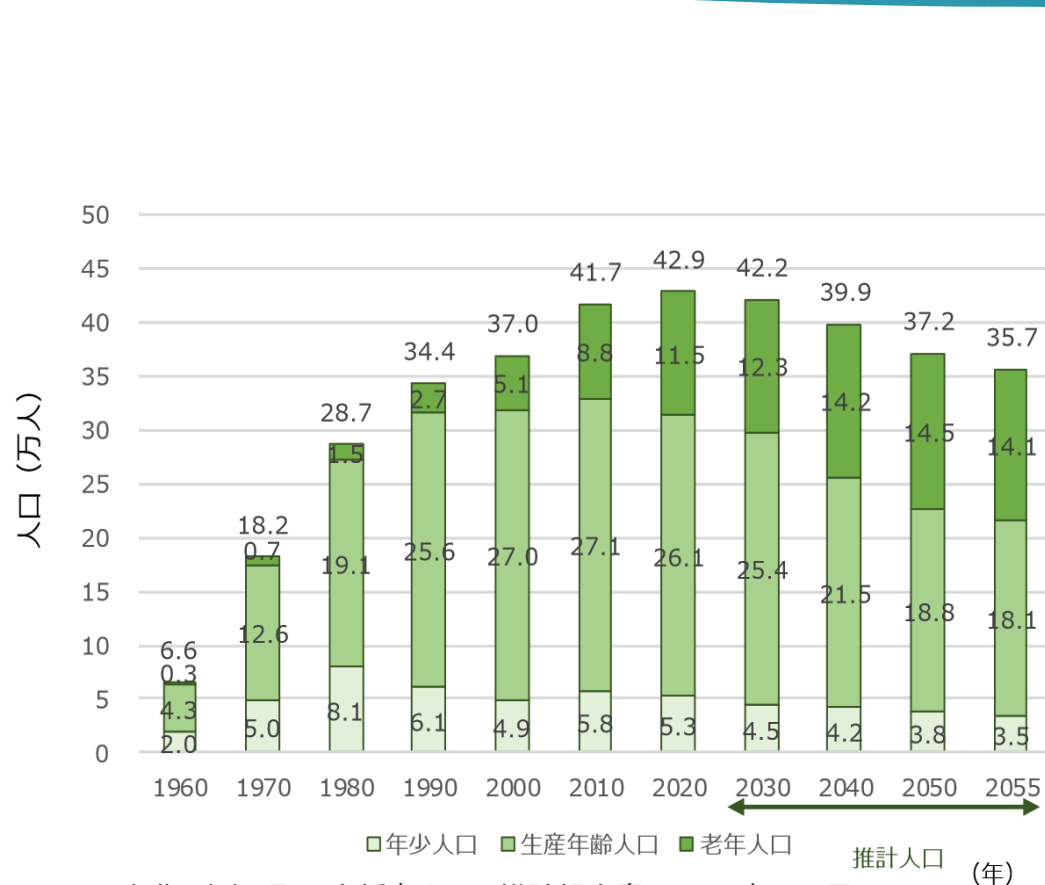
町田市の公共施設再編と図書館集約について

目次

- 1 町田市の公共施設再編について
- 2 図書館の再編について
- 3 町田駅周辺の図書館の集約について
- 4 これまでの地域の皆様との対話について
- 5 今後のスケジュール

1 町田市の公共施設再編について

(1) 町田市の公共施設の現状【人口】



1 町田市の公共施設再編について

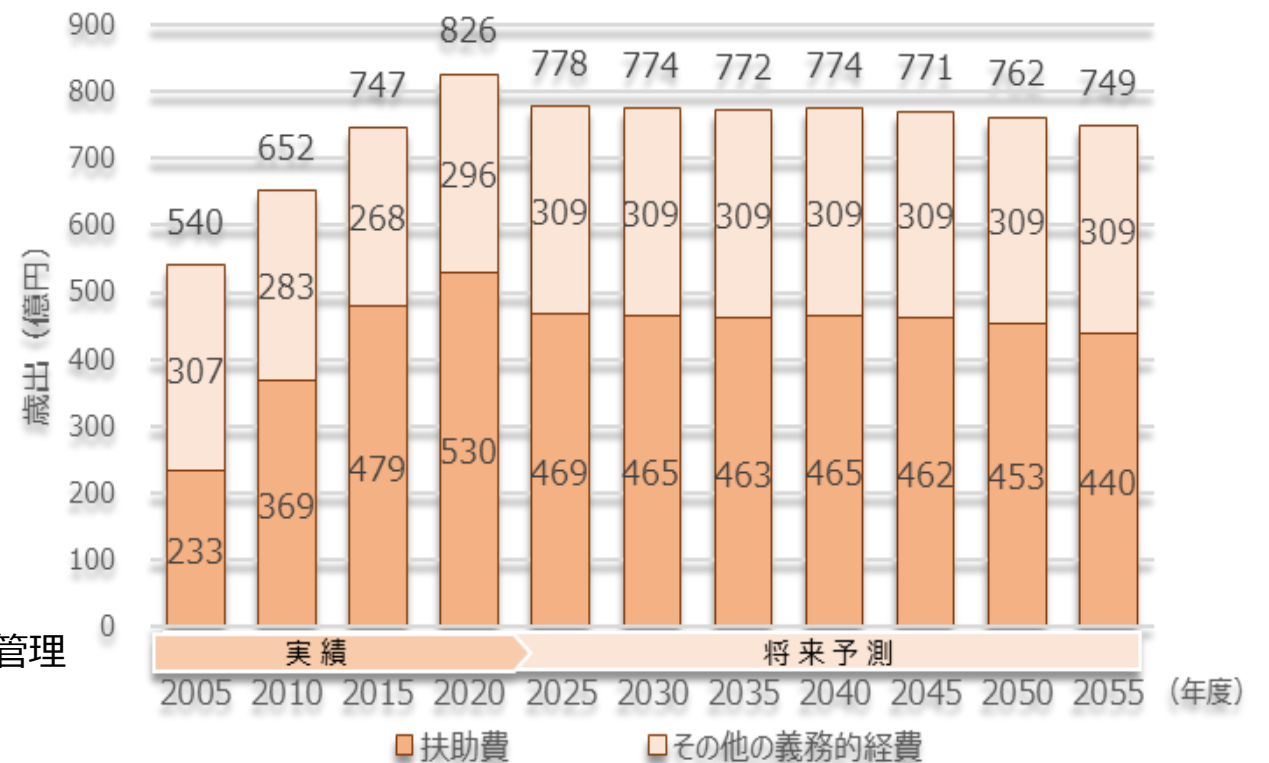
(2) 町田市の公共施設の現状【財政】

●町田市の歳出総額は概ね増加傾向にあり、特に義務的経費のうち社会保障制度の一環として支出される扶助費が増加しています。

●人口減少及び高齢化が進むことにより、社会保障費の増大及び税収の減少が予測されます。

出典『町田市公共施設等総合管理計画（一部改定）』2023.3

【義務的経費の推移と将来予測】



1 町田市の公共施設再編について

(3) 町田市の公共施設の現状【暮らし】

●社会状況やライフスタイルの変化に伴い、市民ニーズも多様化・複雑化しており、行政はその時代のニーズを的確にとらえたサービスの提供が求められています。その一方で行政以外の事業者やNPO等多様な担い手が、自ら公益的なサービスを提供している場面も多く見られるようになってきました。

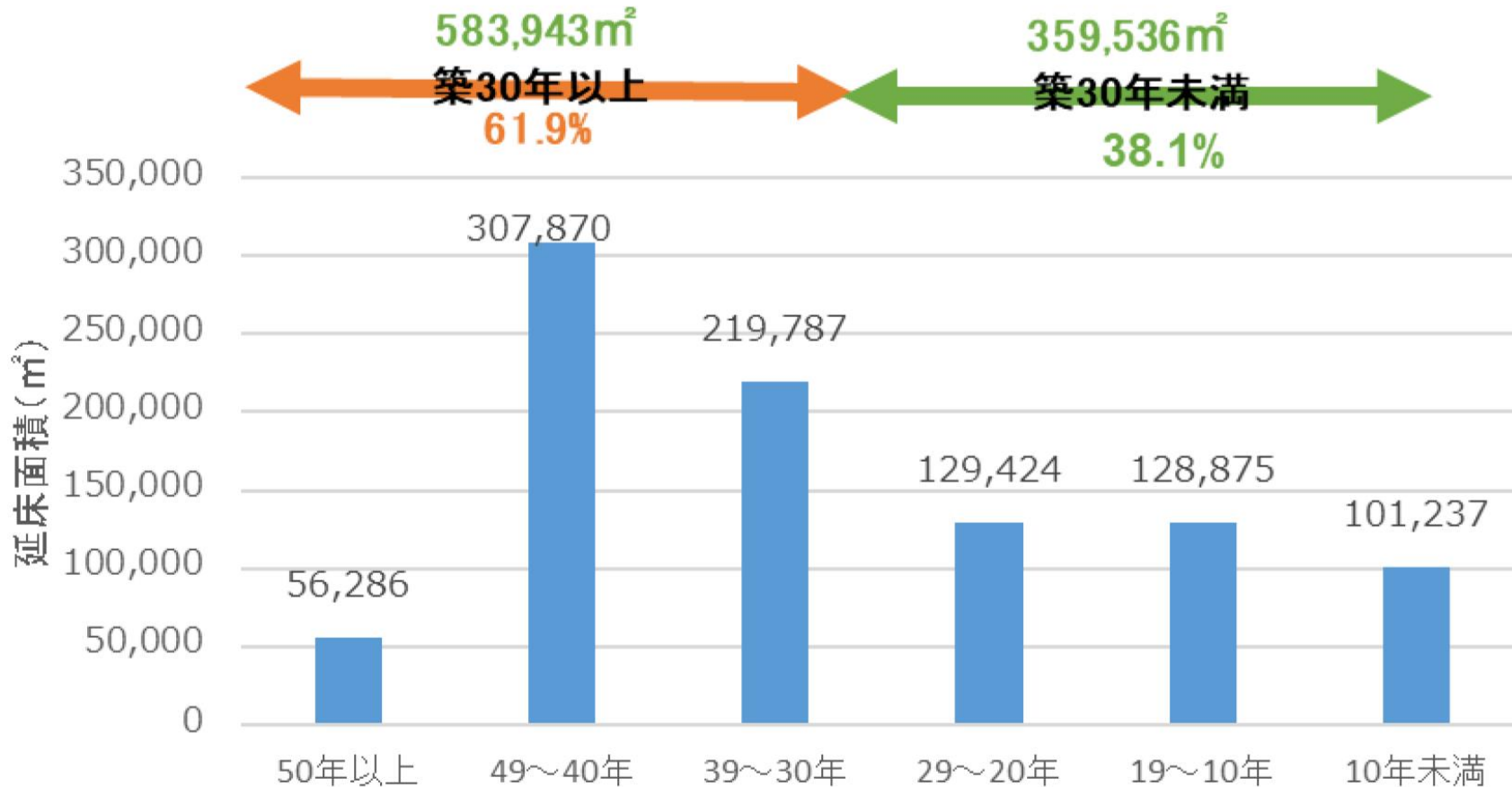
●IT化などの技術進歩により社会状況の変化が今後も続くと考えられる中、従来の公共施設によるサービス提供以外の方法を検討することで、時間や場所にとらわれないサービス提供が可能となり、市民にとって選択肢が増え、サービスがより身近になります。

出典『みんなで描こうより良いかたち
町田市公共施設等総合管理計画』2018.6



1 町田市の公共施設再編について

(4) 町田市の公共施設の現状【公共施設の老朽化】



- ▶ 町田市は高度経済成長期の急激な人口増加や社会環境の変化に対応するため、1960年代後半から80年代前半にかけて公共施設を集中的に整備しました。
- ▶ これらの公共施設を含む築30年以上の施設が、延べ床面積で約58万㎡と全体の約62%を占めています。

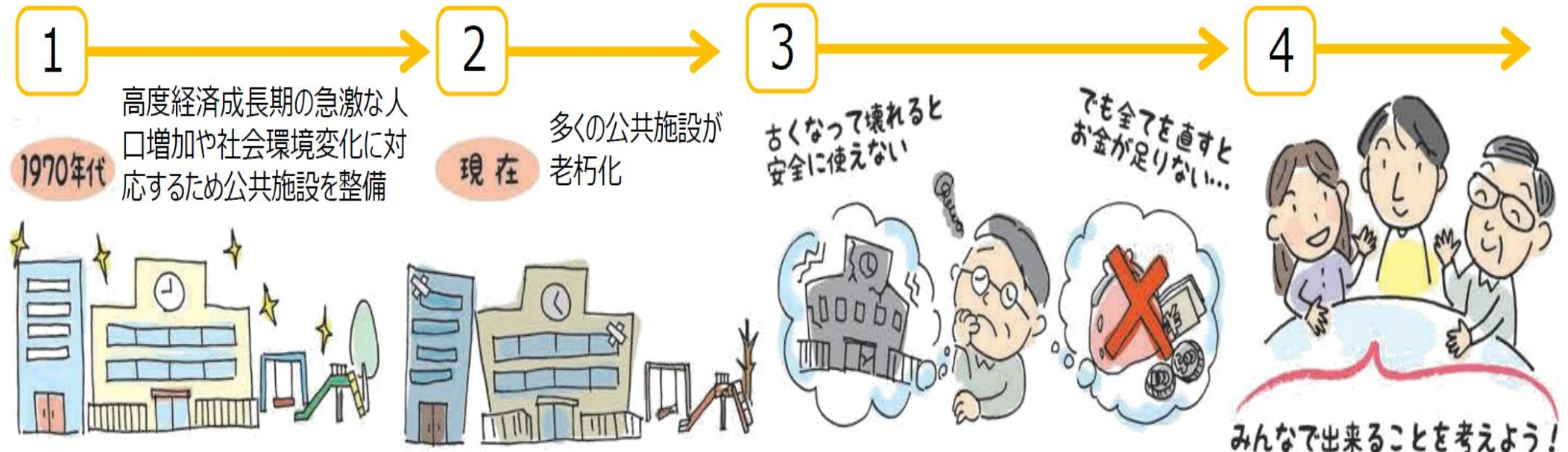
出典『町田市公共施設等総合管理計画（一部改定）』2023.3

1 町田市の公共施設再編について

(5) 公共施設の再編の必要性

① **公共施設の老朽化**・・・ 維持していくためにはこれまで以上にお金がかかるのに

② **厳しい財政状況**・・・ これまで以上にお金をかけていくことはできない



出典：『公共施設の再編等に関するアンケート（情報編）』2022年度

1 町田市の公共施設再編について

(6) 公共施設の再編の取り組み

町田市では、公共施設の再編を新たな価値創造のチャンスと捉え、健全に維持管理できる総量まで建物を減らしながらも、まちの魅力をさらに向上し、新たな価値を生み出す「公共施設 ・ 公共空間のより良いかたち」の実現を目指し、公共施設再編に取り組んでいます。

単に施設を減らしコストダウンを図るだけではなく、これまでの価値や資源、想いを継承しながらも、時代に適応した将来につながるかたちに変えていく必要があります。

▶再編を考えるときの4つの基本方針

- 建物の総量を減らす
- 市民・民間事業者など様々な主体と連携する
- 建物にかかるコストを減らす
- 既存の施設や土地を有効活用する



出典：『公共施設の再編等に関するアンケート（情報編）』2022年度
『みんなで描こうより良いかたち公共施設再編計画』2018年6月

2 図書館の再編について

(1) 図書館再編の考え方

町田市の公共施設再編の取り組みを受けて、町田市立図書館においても、将来にわたりサービスを継続していくため、施設の再編を検討してまいりました。

そこで、近接して図書館がある場合や利用状況が大きく減少している場合は、施設老朽化の状況をみながら再編を進めることとしました。

<再編における図書館の現状>

- ・一部の図書館では配置が近接している。
「鶴川図書館と鶴川駅前図書館」、「さるびあ図書館と中央図書館」
- ・図書館全体の貸出冊数は2012年度をピークに減少
- ・8館ある図書館の中で、築30年以上が5館、うち築50年以上が2館（鶴川、さるびあ）

2 図書館の再編について

(2) さるびあ図書館と中央図書館のプロフィール

さるびあ図書館



地域館の一つであり、1階は図書フロア、2階は学習もできる読書室になっています。また、移動図書館車2台の基地にもなっています。

建設年月：1972年5月（築：51年）

中央図書館



ホテル等との複合施設で、建物の4～6階が中央図書館となっています。読書室・集会室・ホール等の施設を備えています。

建設年月：1990年4月（築：33年）

さるびあ図書館の プロフィール・1

【生年月日】 1972年（昭和47年）5月22日

【住所】 中町2-13-23

【敷地/延床面積】 約3200㎡/1234.32㎡

【蔵書数】 約13.3万冊

市立図書館全体118.1万冊のうち
中央図書館（約53.6万冊）を除き
地域館としては最多。

【おもな設備】 2階 読書室（84席）/
多目的室（8席）



さるびあ図書館の プロフィール・2

【特徴】

(1) 移動図書館の拠点

- ・ 2台保有し、37か所のサービススポットを2週間ごとに運行
- ・ 保育園・幼稚園など子どもの集まる場所やイベントへの出張運行

(2) 学校図書館支援貸出

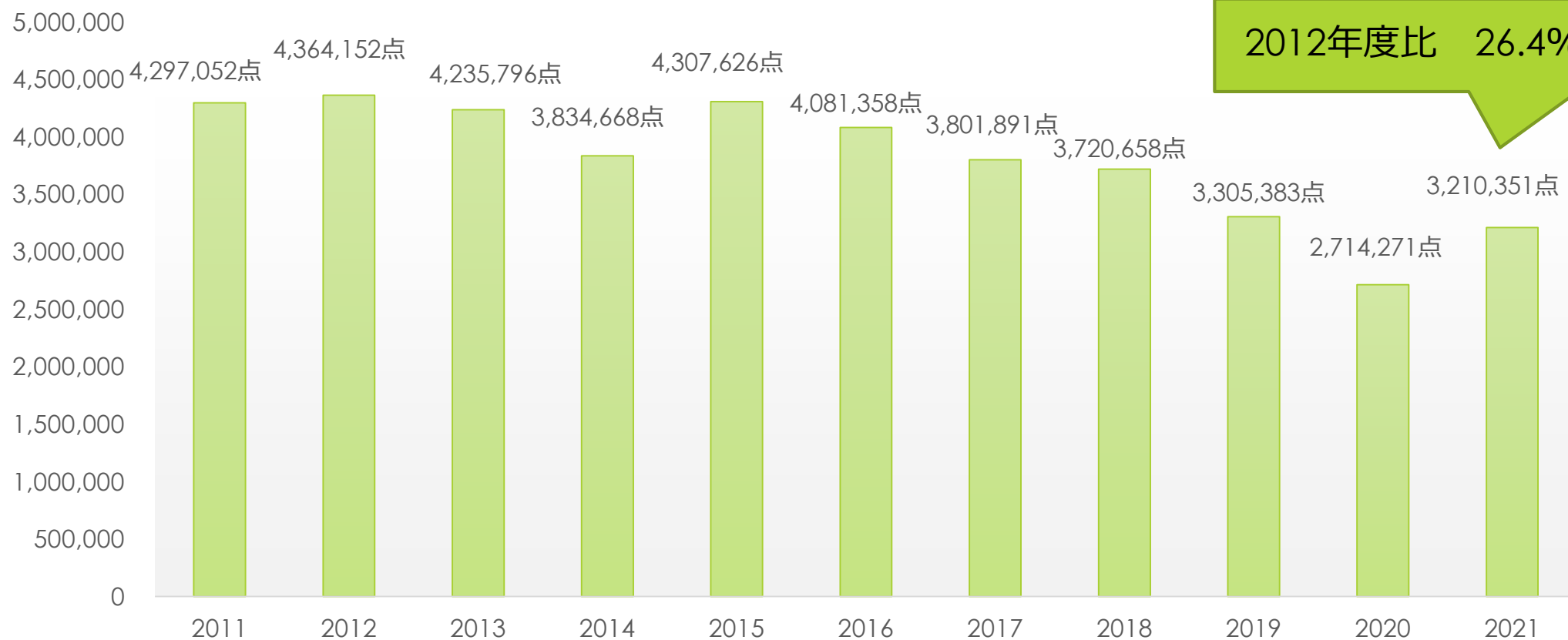
小中学校の依頼を受けて、調べ学習等に
必要な資料の選書・配本を実施



2 図書館の再編について

(3) 図書館の状況 ～全体（8館合計）～

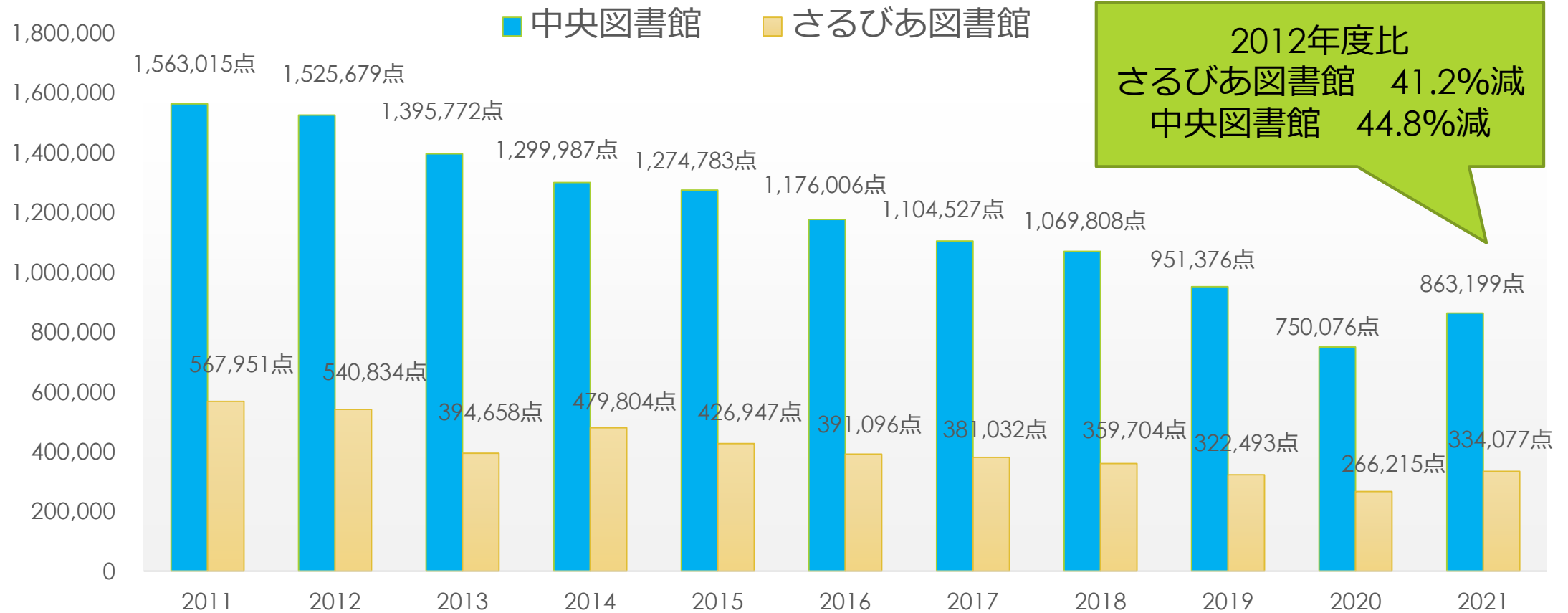
1 貸出冊数の推移



2 図書館の再編について

(3) 図書館の状況 ～中央図書館・さるびあ図書館～

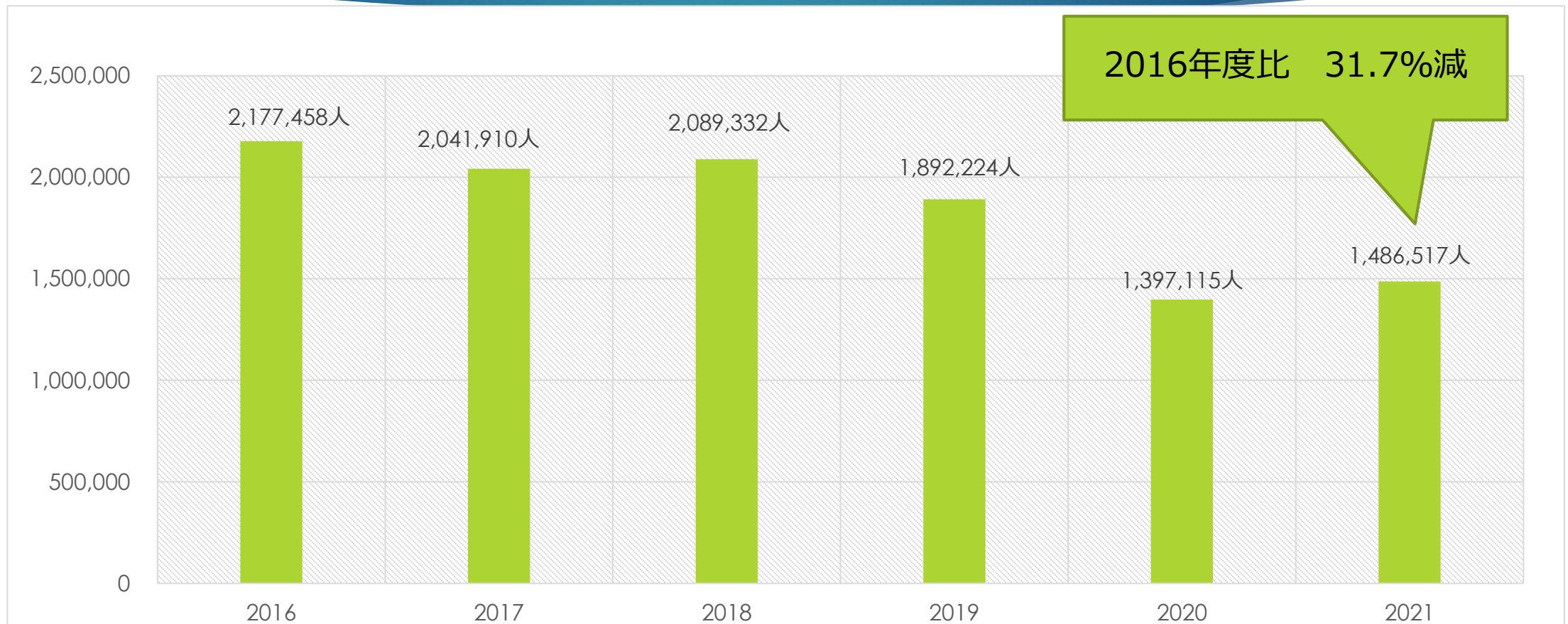
1 貸出冊数の推移



2 図書館の再編について

(3) 図書館の状況 ～全体（8館合計）～

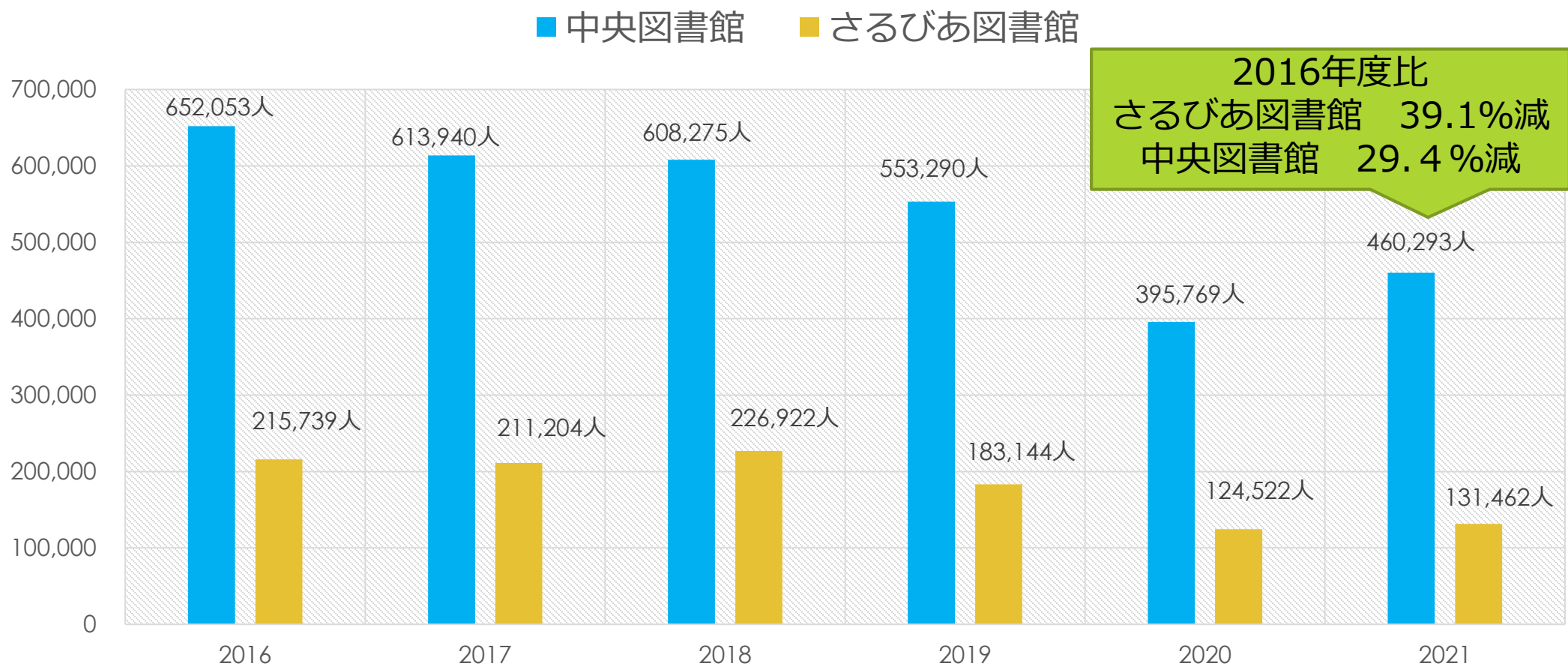
2 来館者数の推移



2 図書館の再編について

(3) 図書館の状況 ～中央図書館・さるびあ図書館～

2 来館者数の推移



3 町田駅周辺の図書館の集約について

(1) さるびあ図書館と中央図書館の集約

- ✓ さるびあ図書館は中央図書館と配置が近接しており、木曽山崎図書館とも近接しています。
- ✓ さるびあ図書館と中央図書館はともに、来館者数・貸出件数が減少しています。
- ✓ さるびあ図書館は、築50年を経過しており、施設機能の今後を検討しなければならない時期にきています。



町田駅周辺の公共施設再編の動向や中心市街地の再開発の動向などと同調し、最適な集約方法を検討することとしました。

3 町田駅周辺の図書館の集約について (2) 町田駅周辺公共施設再編構想 プロジェクトE

2022年3月に、町田駅周辺にある公共施設の再編が目指す姿や、2022～2026年度までの具体的なスケジュールを示すことを目的として、「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」が策定されました。

さるびあ図書館と中央図書館の集約は、この構想の中で、“プロジェクトE”に位置付けられています。

<プロジェクト実現に向けた取り組み>

さるびあ図書館と中央図書館の集約にあたっては、つの館の役割・機能を整理し、移動図書館の運行、学校図書館や団体の支援といった特徴的な機能を維持・向上する方策を検討します。



3 町田駅周辺の図書館の集約について (3) さるびあ図書館の今後に関する検討

- ✓ これまで通り全ての機能を維持していくことはできませんが、単に施設を減らしコストダウンを図るだけではなく、地域の皆様との対話を大切にして公共空間の新たな価値を作りたいと考えています。
- ✓ 検討にあたっては、老朽化が進んでいるさるびあ図書館の今後に関して地域の皆様と一緒に検討を進めてまいります。

4 これまでの地域の皆さまとの対話について

(1) 地域の皆様との意見交換の実施状況

- ▶ さるびあ図書館の今後について、町田第二地区の町内会・自治会の会長や、町田中央地区・森野地区の青少年健全育成地区委員会、民生委員・児童委員の皆様との意見交換を進めてきました。
- ▶

①実施期間	2020年12月3日 ~ 継続中
②実施状況	41団体 211人(2024年2月末日現在)
③ご意見	別紙資料をご参照ください。

(2) 町田市議会での請願

- ・2018年3月「町田市立さるびあ図書館の存続を求める請願」
⇒ 町田市議会で採択
- ・2020年3月「「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」の見直しを求める請願」
⇒ 町田市議会で不採択

今後のスケジュール

(2023年度～2025年度)

【2023年度】

- ▶ 意見交換会を2回実施。第1回は6月10日に町田第2地区町内会・自治会の方を対象に、第2回は8月22日に青少年健全育成地区委員会（町田中央地区）の方を対象に実施しました。
- ▶ 地域で活動されている皆さまへの個別の意見交換を実施しました。

【2024年度】

- ▶ 図書館利用者や子ども・若者世代に範囲を広げ、意見交換会などの取り組みを予定しています。
- ▶ 2024年度までに地域の皆さまから頂いたご意見をまとめ、お示ししたいと考えています。

【2025年度】

- ▶ 地域の皆さまとの意見交換により、「集約方法」の検討をさらに深めていきます。

本日はご清聴いただき、
ありがとうございました。

さるびあ図書館と中央図書館の集約に
ついてのお問い合わせ

●さるびあ図書館 電話 7 2 2 - 3 7 6 8

